

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報																				
☑位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。																				
事務事業名	橋りょう維持事業費			補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	8	項	2	目	4	事業	1	
担当部	都市建設部		担当課	道路維持課		担当係	維持		係	作成者	渡辺 武昭	内線(電話番号)	2631		シート作成日	H30.6.6		部長決裁日	H30.6.6	
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 橋梁長寿命化修繕計画)				根拠法令及び市条例等		<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 道路法)) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:)) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:))													

2 事務事業の目的																			
☑当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																			
現状課題	橋の架け替えは供用開始後50年を目安とされているが、橋長15mを超える65橋のうち現在5橋が50年を超え、10年後に11橋、20年後に35橋、30年後には44橋が対象となることから、コスト削減のために対症療法から損傷が大きくなる前に対策を行う予防保全型への転換を図り、橋梁の寿命を延ばすため、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。工事等はこの計画に基づき実施しているため、工事を含めた事業費は年度ごとにはばらつきが生じる。				誰・何を対象に	市が管理する道路橋				どのような方法・手順で	5年ごとの定期点検を実施することで橋梁の健全度を把握し、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の修繕・耐震工事を行う。				望ましい状態	橋梁の長寿命化・修繕・架替に係る費用の縮減と事業費の平準化を図ることを目的とした計画に基づき、継続的な点検・修繕・計画の見直しを行うことで、橋梁の安全性・信頼性が向上した状態。			

3 事務事業の主たる成果指標														
☑数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	定期点検橋梁数		単位	橋		目標値	478		目標年次	平成 32 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	橋梁の現状を正確に把握し、点検データを基にした予防的修繕を行うことで安全性・信頼性を向上させる。	

4 事務事業の実績 ㊦																														
☑当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																														
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度																					
	業務名				業務名				業務名																					
事務事業を構成する主な業務	①	定期点検業務(2~15m未満/右下西部地区)			125橋	①	定期点検業務(2~15m未満/右下西部地区)			84橋	①	定期点検業務(2~15m未満/水海道東部地区)			108橋															
	②	工事積算業務			5橋	②	長寿命化修繕計画による橋梁点検業務(15m以上)			36橋	②	長寿命化修繕計画による橋梁点検業務(15m以上)			19橋															
	③	補修工事詳細設計業務			4橋	③	橋梁台帳作成・既存台帳更新業務			84・33橋	③	補修工事積算業務			4橋															
	④	施工監理業務			1橋	④					④	耐震補強工事積算業務			1橋															
	⑤	長寿命化修繕工事			5橋	⑤					⑤	橋梁調査設計業務			3橋															
	⑥	耐震補強工事			1橋	⑥					⑥	耐震補強工事監理業務			1橋															
	⑦					⑦					⑦	橋梁台帳作成・既存台帳更新業務			108・20橋															
	⑧					⑧					⑧	長寿命化修繕工事			4橋															
	⑨					⑨					⑨	耐震補強工事			1橋															
	⑩					⑩					⑩	補修工事			3橋															
	⑪					⑪					⑪																			
	⑫					⑫					⑫																			
	目標値に対する実績値				125	橋	目標値に対する実績値				84	橋	目標値に対する実績値				108	橋												
決算額	計	185,315,230	円	内訳	特定財源		円	一般財源	185,315,230	円	計	125,542,130	円	内訳	特定財源		円	一般財源	125,542,130	円	計	140,170,684	円	内訳	特定財源		円	一般財源	140,170,684	円
	(住民一人あたりの行政コスト)				2,996	円	(住民一人あたりの行政コスト)				2,064	円	(住民一人あたりの行政コスト)				2,318	円												

5 担当者評価 ㊧		
☑実施したことによる成果や問題点を記入してください。		
成果	目標どおり	内容
		計画に基づき点検・工事を行っており、目標値には達していないが目標どおりとする。
問題点		過去の事例を見ても老朽化等による橋梁事故は大きな被害を及ぼすこと、また、架け換えとなれば多額の費用が必要となることから、長寿命化の推進と日常的な維持補修は必須である。

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨		
☑担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。		
事務事業の方向性		
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
評価理由	市で管理している橋梁は480橋で、うち15m以上は65橋あり老朽化が進んでいる状況である。15m以上の橋梁については、長寿命化修繕計画を策定し、計画的に現在15橋を実施しているが、その他橋梁の計画的かつ予防的な修繕計画を策定し、適切な橋梁の維持管理を実施しなければならぬため、事業・予算の拡充が必要である。	

7 実施計画 ㊩														
☑今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。														
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度					
事業内容														
	①5年に1度、近接目視による全数点検を実施 (H26.7道路法改正により義務化)				①5年に1度、近接目視による全数点検を実施 (H26.7道路法改正により義務化)				①5年に1度、近接目視による全数点検を実施 (H26.7道路法改正により義務化)					
	②点検結果に基づき、長寿命化修繕計画の策定・見直しを実施				②点検結果に基づき、長寿命化修繕計画の策定・見直しを実施				②点検結果に基づき、長寿命化修繕計画の策定・見直しを実施					
	③点検結果・計画に基づき詳細調査設計を実施				③点検結果・計画に基づき詳細調査設計を実施				③点検結果・計画に基づき詳細調査設計を実施					
④修繕工事を実施				④修繕工事を実施				④修繕工事を実施						
予算額	歳出	計	226,090 千円		歳出	計	225,368 千円		歳出	計	267,368 千円			
		特定財源	0 千円				特定財源	千円				特定財源	千円	
	歳入	一般財源	226,090 千円		歳入	一般財源	225,368 千円		歳入	一般財源	267,368 千円			
		計	226,090 千円			計	225,368 千円			計	267,368 千円			

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、平成29~31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。供用開始後50年を超える橋については当然架け替え、住民が安全安心に生活できるようにしていただきたい。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪		
事務事業の方向性		
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
評価理由	適切な橋梁の維持管理を行うには、計画的かつ予防的な計画に基づいた事業実施が必要である。	

11 事務事業の改善理由 ㊫	
☑実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事業内容	橋梁の長寿命化・修繕・架替に係る費用の縮減と事業費の平準化を図ることを目的とした橋梁長寿命化修繕計画に基づき、継続的な点検・修繕・計画の見直しを行うことで、橋梁の安全性・信頼性の向上を図る。